

第3回 中学校標準服（制服）のあり方に関する懇談会 結果概要

- 1 日 時 令和4年2月8日（火）15時から16時30分
- 2 場 所 オンライン開催
- 3 出席者 保護者3名 小学校長1名 中学校長1名
中学校教諭2名 養護教諭2名
- 4 発言要旨

令和4年度からの学校検討期間を迎えるにあたり、「保護者の立場から、学校に期待すること」「教職員の立場から、検討の留意点」をテーマに、ご意見をいただきました。

保護者	<p>市全体の標準服をつくらないということに驚いた。これからは学校でどう考えていくかということになるが、モデル校があるとよいと思う。学校に丸投げで、検討していくのは難しいのではないか。中学生を含めて、皆が納得するような形をつくっていくのは難しいかもしれないが、せっかく立ち上がった取り組みなので、松戸市全体が良い方向に進んでいくとよいと思う。</p>
保護者	<p>学校ごとに考えるといっても、漠然としすぎるので、このまま取り組みがなくなってしまうこともあるのではと心配している。例えばタブレットの導入のときのようにモデル校があれば、他の学校も考えやすいのではないか。</p> <p>市全体の標準服を考えないことにはなったが、それぞれの学校に特徴があるので、学校生活に見合った制服を考えていくことができるようになったのではないか。これを機に校内着についても考えてほしい。多様性だけでなく、SDGsの面も考えると、子どもの通う学校では、おさがりを考えて校内着の名前の刺繍を見直すなど取り組んでほしいと思う。</p>
保護者	<p>学校ごとに考えるとなると、校長先生も変わったり、保護者も3年で変わったりする中で、令和5年度からの導入では考える時間が短い気がする。この取り組みでおさがりを期待していた保護者としてはどういう気持ちなのかという感覚はある。</p>
養護教諭	<p>勤務校ではプロジェクトチームをつくって検討を進めていく</p>

<p>養護教諭</p>	<p>ことになっている。この懇談会で意見交換できたことを活かしていきたいと考えている。</p> <p>養護教諭の立場からは防寒、夏は吸水性のある素材等、健康面を第一に検討していきたい。勤務校においては、色々なことを抱えている生徒もいるので、そのあたりもよく考えて検討を進めていきたい。</p> <p>市としての標準服を決めないということになったが、検討開始の時に、新しい標準服の導入を全校に求めているものではないという説明があったことを思い出しました。</p> <p>小中学生の検討会で、子どもモニターの児童生徒がとてもよく考えていることに感心した。これから検討するにあたっては、これまでの考え方にとらわれずに、子どもたちの考えをよく聴いて進めていくのが良いと思う。</p> <p>市の標準服を決めないにしても、現状を見直す必要があるという意見は多かったと思う。寒暖への対応、脱ぎ着のしやすさ、洗濯（選択）の面等、考えていくことは必要。全部ではなくても部分的に変更ということも考えられる。また、変更せず、今のままの標準服であったとしても、どういう着方であるとか、どういう面を変えていけば多様性や人権に配慮した、より心地よい、過ごしやすい着方になる等、そういうことを検討していくことが多様性の理解や人権意識の向上につながると思うので子どもたちの考えを聴いていったらよいと思う。</p>
<p>中学校教諭</p>	<p>松戸市内で一斉に制服を決めていくと思っていたので、残念な気持ちはある。制服を変えた方が良いということは何十年も前から思っていた。やっとこの時が来たと感じている。ただ、学校で変えていくのはいろいろな面で、いろいろなご意見があるため、大変。校内服の変更に携わったことがあるが、一教員が業者と折衝したり、保護者の方の話を聞いたり大変だった。</p> <p>学校ごとに検討していくことは、決まったことかもしれないが、市の標準服があることはいいアイデアと思ったし、松戸市としての所属感も感じられると思う。リボン等の小物で学校の違いを出せると思う。</p> <p>学校ごとに進めるとなると時間もかかるし、学校差が広がることにつながると思う。制服で学校を選ぶことにもなるし、価</p>

<p>中学校教諭</p>	<p>格差やおさがりの状況も変わってくる。</p> <p>また、同じ校長がいつまでもいるわけではないため、時間がかかることを考えると、変えていくことは難しいのではないかな。</p> <p>他市では制服の移行に取り組んでいる学校がある。教職員として、この課題にいち早く取り組んでいかなければならないと思う。一方で、すべてを学校に任せると厳しい面がある。市内で足並みが揃わないとなると、保護者等からの不信感も出てくるのではないかな。</p> <p>検討するにあたっては、多くの意見を聞きながらチームで取り組んでいかなければいけないと思いますし、また LGBT に悩む生徒がいる中ですぐに解決していかなければならないとも思う。</p>
<p>小学校校長</p>	<p>制服を変えるというのはとても時間がかかること。だからこそ、統一モデルをつくって、ある程度のところを教育委員会がお膳立てをする。その後は学校ごとに独自性を出していくのがよいのではないかな。その検討段階において、小5や中2の児童生徒の考え、子どもモニターの考え等を受けて、各学校で考えていくのがよいのではないかな。その上で、自校の実態を踏まえて決めていけば、物事がスピーディに進むと思っていた。いろいろな考えがあるので、満場一致は難しいかもしれない。ただ制服の変更は、校内服の変更とはわけが違う、とても重いものと認識している。だからこそ統一モデルが必要だと思っていた。</p> <p>多様性と人権意識の向上を子どもたちに考えさせることはとても大事なことではあるが、制服を変えるところで、そこに取り組んでから、制服の変更の話し合いをするととなると、いつになったら制服は変わるのか。</p> <p>学校差が出る、学校によって、微妙なところを考えていかなければならない。伝統校では変更が難しかったり、それにとらわれていては変わるものも変わらなかつたりするとも思う。</p> <p>話を進めていくことが各学校に任せ、最終的には校長が判断しなければならないというのは、やらなければならないこととは思うが、正直、ハードルが高いと感じている。</p> <p>そのため、何らかの形で考え方を示してもらって、それを受けて各学校が独自性を出す。学校が考えるところを狭める形を</p>

<p>保護者</p>	<p>とっていただかないと、「変わりたくても、変われない。」「変わる学校が出れば、変わらない学校が責められる。」といった状況にはしたくない。</p> <p>小中学生の検討会があるが、子どもたちには今回の取り組みはどのように伝わっているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>小中学生検討会に参加している子どもたちには、多様性の理解を深めるための一環として標準服（制服）を検討であると伝えている。</p> <p>まずは「多様性とはどういうことか」を議論し、最終的にはその議論を活かして、標準服（制服）とはどのようなものなのかを考えてきた。</p>
<p>保護者</p>	<p>子どもたちはいろいろなことを話し合っていて、とても良い活動だったと思う。ぜひ、今後の取り組みに、子どもたちが考えてきたことを活かしてもらいたい。</p>
<p>保護者</p>	<p>子どもたちがまとめたものは素晴らしいと思う。</p> <p>保護者のお金の問題ですが、生徒数の多いところは安くなり、少ないところ高くなるのではないかと心配している。</p>
<p>中学校校長</p>	<p>価格については、各学校で決めることになるかと、現在の校内服と同じような形になるのではないかと。</p> <p>各学校がメーカーを決め、そのメーカーが制服をつくり、学校が価格交渉をしていくことになる。今の女子の制服がその状況である。市内でも学校ごとに価格差がある。一方で、男子の制服については、学ランで市内共通となっているが、その中でも、品質によって価格に違いがある。</p> <p>簡単に言えば、派手にすればするほど、高い価格になる。子どもに決めさせれば当然、派手なものが出てくるので、そのような学校は価格が高くなると思う。意見を聞きながら、価格を抑えようとする、子どもたちとの意見のすり合わせに時間を要するため、どのように進めるか考えていかなければならない。価格については心配している。</p>

保護者	<p>各学校が制服を変えらるとなると、こぞって制服メーカーがやってくるのではと思う。競争が激しいと思う。校長が変わってしまうとか、一生懸命に意見を出した生徒は着ることがなく卒業することを考えると、生徒も保護者を含めてどれだけ親身になって話し合えるのかどうか。PTA がない学校は、保護者の委員会を立ち上げないといけない。それぞれの学校でいろいろと問題が起きるのではないか。懇談会で1年間話してきても、意見がまとまらず難しいことを、学校で生徒・保護者が話し合うのは大変だなと思う。実際に学校で、学年の保護者代表として、話し合うことがあるが、意見を求めても誰も答えてくれないことが多い。皆の前で自分の意見をいうことの避ける保護者も多い。学校で話すということは大変なことだとしみじみ感じている。</p>
中学校校長	<p>LGBTのことを考えると、クラスの中にパーセンテージでいえば、4, 5人いる可能性がある。時間をかければかけるほど子どもたち自身が悩んでいることが置き去りになっていく。学校現場も悩んでいるが、子どもたち自身が一番悩んでいる。子どもたちが悩み続けていて、この取り組みに期待して、展示会に行ったかもしれないということ。先延ばしにしてしまっただけの不安を感じる。中学校へ行けば制服を選べる、例えば、皆がズボンを着ているなら、スカートを着きたかったけどズボンでも平気だなとか、気持ちがやわらかくなる場面が期待されていた。学校ごとになると見えない心の部分はどうなるのかと考えてしまう。</p>
保護者	<p>スピード感を持ったほうが良いと思う。展示会では制服がすごくよくなっているのを感じた。制服を変えたほうが良いと思っている人も多いと思う。</p> <p>私の子どもは、中学生の時にちょうど校内服が変わった学年だった。他校と比べて独特な色だったので、市内の体育大会の時にも、どこにいるかわかりやすいと思っていた。はじめは、なんで変わってしまったのという意見もあったが、変わってしまったら、いずれは順応するものだった。だから、標準服が変わったとしても順応していけるのだと思う。</p>

<p>中学校教諭</p>	<p>校内服を変えるにしても、1, 2年かけて準備を進めている。標準服となるともっと時間がかかるのではないかと思う。現在、LGBTの対応として、他市も取り組んでいる状況があるので、本当は早急にやらなければならないことなのだが、制服に関しては、すぐに検討をはじめて、すぐに決めるということを学校ごとに行うと、差が出てしまって、先延ばしになる学校も出てくると思う。先ほど価格のことも含めて、課題点が出たので、学校に持ち帰って検討したい。</p>
<p>中学校教諭</p>	<p>私は制服を変える気で懇談会に参加していた。小中学生も制服が変わることへの期待感がある。強引にでも押し進めていただきたい。学校に丸投げという話もあったが、学校でやりなさいと言われたら、日常の業務をやりながら進めるのは大変。</p>
<p>養護教諭</p>	<p>LGBTのことから考えれば、新しい標準服を導入するのが良いと思うが、LGBTだけでなく、いろいろな面から検討すべきではないか。多様な種類の組み合わせをしたいという意見も多かった。素材、着やすさ、洗濯がしやすいことや、夏なども例えばポロシャツやスラックスの組み合わせなど、夏は冷房で寒いという生徒もいる。また、寒いときにスカートを穿きたくないという生徒もいる。</p> <p>1つのモデルを決めないとしたのであれば、学校ごとにできることを検討していくべきだと思う。</p>
<p>養護教諭</p>	<p>LGBTの生徒がスカートを穿くことを嫌がっていた。修学旅行のときなど困り感があったので、早急に制服を変えてあげたいという気持ちがある。市内のモデルがなかったとしても、自校では急いで検討していきたいと考えている。</p> <p>かつての勤務校では、体操服を検討するにあたって、5種類くらいの体操服を、数か月間、生徒にモニターになってもらって、着心地などを確認しながら検討を進めたことがある。学校だけで変えるのは大変だと感じた。</p>
<p>中学校校長</p>	<p>教育委員会としては、制服を変える、変えないではなく、人権の視点ということなのだが、制服でそこに組み込まなくてもという意見もありました。人権やSDGsの視点を、学校の中でま</p>

保護者	<p>とめながら制服につなげていくことができるのかということを考えてしまう。道徳等で、今もやっていることですし、そのあたりを深めて、制服につなげていくことが、教育活動として、どうなのかとも思います。</p> <p>一般の保護者から考えると、制服を変えるとなった時に、LGBTのことは置き去りにされると思う。真っ先には、価格、着やすさ、洗濯のしやすさ等のことが検討されると思う。養護教諭の方々がおっしゃっていたような、子どもたちの現状を知ってもらわないと、LGBTの観点も含めた検討にはならないと思う。それを伝えることは可能なのでしょうか。はじめに、LGBTについての理解がなければ、最初の目的とはかけ離れていってしまうのではないか。多様性の理解を深めていくことが大切なのであれば、生徒は道徳でやっているかもしれないが、保護者には道徳の授業はない。保護者は現状を知らないかもしれないので、学ぶ機会が必要なのではないのでしょうか。</p>
保護者	<p>変えるということになった場合は、混在期間をつくってもらいたい。また、制服の検討を早く進めるよう各学校に伝えていただきたい。</p>
小学校校長	<p>校長先生たちは、制服を変えたいという気持ちは強くあると思う。これまでの懇談会の内容やアンケートや子どもたちの意見などを含めて。子どもはデザインかもしれないが、大人は価格であると思う。</p> <p>その上で、多様性を持った子どもたちにも対応できる、ある程度統一性のあるモデルを、市としては作らないにしても、中学校の校長先生たちの中で、ある程度考えていくことや揃えていくことで、スピーディかつ学校格差が起きないように情報を共有していくことをやっていかないとはいく進むことはないと思う。今、求められているわけですから、できることをスピード感をもって行うことで、変えるなら変える方向に進めていくのがよいのではないか。</p>
保護者	<p>校長先生たちに課題を認識してもらうことは大切だと思う。市のモデルを出すことについて、教育委員会として、再検討を</p>

	<p>しないのか。</p>
<p>保護者</p>	<p>教育委員会で難しいことは、学校にも難しいと思うので、今後どのようにバックアップしていくのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>再検討を行う予定はないが、子どもたちが多様性の理解を深めることや人権意識の高まり等を目指す一環としての取り組みであるため、今年度の検討内容や教材等の提供により、今後も関わっていきたいと考えている。</p>
<p>中学校校長</p>	<p>懇談会としては、スピーディに進めていくこと、価格のこと、学校格差を出さないことなどが課題としてあがったように思う。今後、各学校で検討がスタートするよう期待しているところです。中学校長会にも働きかけていきたいと思う。</p> <p>自校の話をすれば、制服に課題を感じている。学校評価の中でもそのような意見をいただいている。今年度は教育委員会の動きを待っていたところもあるので、今後、進めていきたいと思う。</p>
<p>中学校教諭</p>	<p>校長先生たちは皆、制服を変えたいと思っているという話があったが、校長先生たちは各学校で検討を進めていきたいと思っているのでしょうか。</p>
<p>中学校校長</p>	<p>その点は、校長先生方は思案している最中であると思う。自校の場合は、すでにご意見をいただいている状況もあり、早く押し進めないといけないと思っています。</p>
<p>中学校校長</p>	<p>この懇談会を通じて、皆さんとお会いすることができ、意義のある時間を過ごさせていただきました。いろいろな意見を聞くことができ、とてもうれしく思っています。ありがとうございました。</p>